



「見つめようカード」の集計結果から

金曜日の学級部会の資料として、2学期に実施した「見つめようカード」の集計結果を配布します。事前に資料に目を通しながら、その中の「読書」の項目が気になりました。期間中だけでも読書時間がもう少し増えないものか、と思ったからです。

そこで、突然ですが、下の問題を読んで()に入る言葉を選んで下さい。

次の文を読みなさい。

アミラーゼという酵素はグルコースがつながってできたデンプンを分解するが、同じグルコースからできていても、形が違うセルロースは分解できない。

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適当なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

セルロースは()と形が違う。

- ①デンプン ②アミラーゼ ③グルコース ④酵素

これは、『AI vs 教科書が読めない子どもたち』(新井紀子 著 2018)という本で取り上げられている問題です。この本の中で、「(現時点で)こういう読解はAIにはできない。(なので)人間にしかできない読解力の育成が教育のキーポイント。」と著者の新井教授(国立情報学研究所)は主張されています。

新井教授は数学者で人工知能の専門家。「東ロボくんプロジェクト」と名づけられた「東大に合格できる人工知能をつくる」研究で有名な方です。

研究の結果、「東ロボくん」は全国に756ある大学の70%にあたる535の大学で合格可能性80%以上をとることができたということです。しかし、東大に合格する見通しがたたないままプロジェクトは終わることになりました。現段階では、AIは文の意味を理解できるわけではないので、簡単な文章でも解釈することが難しいということでした。しかし、この研究から新たな課題が見えてきたそうです。

「AIが得意な分野において、人間の仕事がどんどんなくなっていこう」という予測を耳にされたことがあると思います。新井教授は「(この予測は当たらないだろうと)楽観してはいけません」と言っています。研究をしていくなかで「AIが苦手な文章の読解は、日本の子どもたちも苦手だ」ということがはっきりとわかったということです。

全国2万5000人を対象とした読解力調査で、「中学校を卒業する段階で、約3割の子が表層的な読解力さえ身につけていない」「学力中位の高校でも、半数以上が内容理解を要する読解ができない」等の由々しき実態がわかったそうです。

社会は常に変化を続けています。文章を読んで理解できない状態では、将来の変化に対応して何かを学ぶ必要が出てきたときに、自ら学び、社会に適応していくことが難しいでしょう。

これでは将来、人間はAIにとうてい太刀打ちできないことになってしまいます。

さて、この本では、このように読解力を向上させる必要性が書いてあるのですが、向上させる具体的な方法については、簡単な処方箋はなく、地道な教育現場の努力に期待しているということでした。

堂崎小でも、「算数の文章問題に取り組ませたけれど、その意味する場面がイメージできていない子が多い」ことがよく先生方の話題に上がります。算数というより国語の問題、読解力が足りない、というのが堂崎小児童においても大きな課題なのです。

子どもたちが大人になるころに社会はどう変化しているのか誰にもわかりません。どんな社会であっても、それに適応していく「生きる力」をもった人間に育てていかないとはいけません。その基礎力の一つが文章を読んで理解すること＝読解力です。

そして、「読解力向上」は「習うより慣れろ」。読書を習慣にすることがスタートじゃないかと思います。そういう意味で、「見つめようカード」の読書時間の結果は少し心配です。学校も読書指導を続けています。お忙しいとは思いますが、子どもといっしょに読書する時間を作る等、家庭でも読書時間増を意識してもらえたらと思います。

(ちなみに、問題の答えは、「①」です。)

<校長日記>

11月29日(月)

持久走大会の試走を行いました。ペース配分などがわかったことと思います。

11月30日(火)

4～6年生が参加して「フラワーアレンジメント教室」を体育館で実施しました。長崎県農林部が募集した企画に応募したところ大当たりしました(笑)。花や器などすべて無料で提供いただきました。ありがたいことです。島原市の重松花屋さんを講師に、花を組み合わせて洋風生け花を仕上げていました。花を贈る相手に向けたメッセージカードを書いて終了。貴重な体験の時間となりました。



12月1日(水)

昨日、運動場西側のネットをくぐりぬけてフェンス(塀)の上に乗っていた子がいた、という報告がありました。カラスウリを取ろうとしていたそうです。ご存知のように西側のフェンスの外は断崖絶壁になっていて、落ちたら命に関わる事故になります。もし落ちたらと考えるとゾ～ッとします。絶対にネットをくぐったり、フェンスを越えたりすることがないように担任の先生方から子ども達へしっかり指導をしてもらいました。

12月2日(木)

気温が上がらず寒い1日でした。4～6年生の子どもたちは、明日の準備でイモ洗いを頑張っていました。

明日の持久走大会は、悪天候で延期する場合は安心安全メールでお知らせをします。また、児童は集団下校を実施します。



持久走大会 がんばりました

12月3日(金)午後から持久走大会を実施しました。参加した全員が完走し、事故なく終えることができました。保護者の皆様が多数来校され、応援していただいたおかげで、ほとんどの子ども達が自己記録を更新できました。ありがとうございました。

また、朝からPTA有志の方々(金丸あずみ、石橋保浩、金子幸生、山口貴教、吉田和也、吉田志穂、山口理沙、井上誉久、井上瞳、末吉希 *敬称略)で蒸かし芋を準備していただきました。金子さんと末吉さんからはたくさんイモを寄付していただき、学校園の収穫不足を補ってもらいました。「走った後にイモ?」と思っていましたが(笑)、子ども達はたいへん喜んでいました。保健体育部で見守りに出ていただいた皆様と合わせ、ご協力に感謝いたします。各学年の男女別の優勝者と記録は以下のとおりです。

(低学年800m 中学年1000m 高学年1500m *新記録は(新))

1年生	金子 星心	3分40秒(新)	松尾 結羽	3分32秒(新)
2年生	神崎 昭成	3分47秒	松尾 稀結	3分21秒(新)
3年生	石川 聖耀	4分23秒	中村 渚紗	4分29秒
4年生	山口 結大	4分00秒	荒木 久允佳	4分29秒
5年生	石川 央侑	5分51秒(新)	吉田 心愛	6分11秒(新)
6年生	山口 弘聖	6分01秒	山崎 凜祢	7分31秒



募金を赤い羽根共同募金へ

12月6日(月)、堂崎小児童から集まった募金を「赤い羽根共同募金」へ寄付しました。企画委員会の子ども達を中心に活動した結果、ドラえもん貯金箱に入った募金がたくさん集まりました。

市社会福祉協議会の担当者の方が来校され、企画委員会の子ども達が代表して募金を渡しました。



ひまわり集会

12月4日～10日は人権週間。堂崎小学校では、9日に人権集会「ひまわり集会」を実施しました。人の優しさは、言葉や行動に出てきてはじめて伝わります。心の中に

ある優しさを表に出すにはトレーニングが必要です。集会ではグループに分かれて「風船運びゲーム」をしました。「がんばれ！」「いいね！」「どんまい！」等々、優しい言葉が子ども達からたくさん出ていました。あたたかい言葉を口に出して言ったり、言われたりする体験が今後の言動に生きてくるはずです。集会のゲームは、担当の永田先生がそういう目的で企画されたのでしょうか。最後に、6年生 平麟太郎君のピアノ伴奏で『手をつなごう』という曲をみんなで合唱して集会を終わりました。



<校長日記>

12月3日(金)

午前中は雨。夕方雨。しかし、持久走大会の時間帯は雨も降らず、天気感謝。

12月6日(月)

午後から PTA 広報部会がパソコン室で開かれていました。完成までに、あと1回集まって作業をされるそうです。お忙しい中にありがとうございます。

12月7日(火)

朝の「けやきタイム」の時に、3年生教室に6年生が行って勉強を教えていました。6年生は順に全学年を回って学習の支援をする予定だそうです。6年生の子たちは教えることで自分達の成長を感じているのでしょうか。とても楽しみにしているそうです。

12月8日(水)

1年生が図工で粘土を使っていました。以前の油粘土は匂いがきつくて、教材の中で私が最も触れたくないものでしたが(笑)、今の油粘土はびっくりするくらいに匂いがしません。無臭タイプ油粘土の開発者を表彰したいくらいです(笑)。

12月9日(木)

毎年この時期に2年生以上の子ども達を対象に市内統一で学力検査を行っています。今日は国語、明日は算数の検査です。結果については後日お知らせします。

12月10日(金)

全校朝会で、持久走大会の躍進賞(昨年度より大幅に記録を伸ばした子)、新記録賞(歴代最高記録を出した子)の表彰式。新記録賞の子ども達には校長手作り金メダルもプレゼントしました(笑)。その他、1年生 松永幸大君の県読書感想文優秀賞、6年生 平麟太郎君の緑化推進運動ポスター入選の表彰伝達も行いました。

来週1週間(12/13(月)~17(金))は全学年5校時下校です。



子ども県展

上記コンクールの入賞者発表があり、下記の通りたくさんのお子さんたちが入賞しています。また、堂崎小学校は「**絵画 優良校**」という**学校賞**もいただきました。子ども達と先生方の頑張りが認められてうれしい限りです。(表彰は、後日、賞状が届いてから行います。)

【特選】 絵画の部

【1年】石橋黎音 【2年】隈部詩温 平石陽真理
【4年】古江毅來 【5年】石川央侑 田中渉

版画の部

【1年】松尾結羽 【2年】松尾かな 松尾稀結

【入選】 絵画の部

【1年】石川琉煌 井上結斗 松永陽希 神崎梨華
【2年】金子幸樹 神崎昭成 坂上湊人 末吉翼 末吉楓花
【4年】金子蓮叶 【5年】松尾大我 白石ユマ 山口皐月 吉田心愛

版画の部

【1年】松永陽希 松永幸大 荒木結葉 石橋黎音 小島瑠莉
【2年】岡田大輝 隈部詩温 末吉楓花 【5年】小山拓己

もしもタブレットが壊れたら？

先週あった PTA 役員会の中で、「子どもが使用しているタブレット端末が壊れた時の対応はどうなっていますか？」というご質問がありました。その場でも答えたのですが、全員に周知したいことでもあるので、再度、紙面で確認をしておきます。

4年生以上の子どもがいる保護者の方には、市教育委員会から出された「端末等を家庭等に持ち帰るに当たっての同意書」を既に提出いただいています。その同意書には、以下の文言が記されています。

「**故意に学習用の端末等を損傷させ、又は滅失させたとき、学校の指導に従わなかったことにより学習用の端末等に障害が生じ、その全部又は一部が使用できなくなったとき、若しくは、適切な管理を怠ったことにより学習用の端末等を紛失したときは、その損害を賠償すること。**」

つまり、上記に該当しない限り、保護者へ故障・破損等の責任を求めることはなく、ということです。今までも教材等について、「通常の使用」で壊した場合に「弁償」を求めないのが基本ですので、タブレットについても同様の対応と考えています。なお、現在まで本校では破損等は起こっていませんし、市内での破損等の情報も耳にしていません。ただ、雑な扱いをすれば壊れやすいのは確かなので、今のところ、子ども達なりにタブレットが精密機器であることを理解して、丁寧に扱っているということでしょう。

同意書には、その他、「端末は学校が認めることのみを使用すること」「個人情報及び著作権等の保護に注意すること」「アカウント、パスワードの管理に留意すること」などの文言もあります。学校でも指導をしていきますので、保護者の方もご承知ください。

私たち大人は危険を理解した上で、車を使って便利に生活をしています。デジタル機器を使うことも同じだと思います。今後、社会の様々な場面でデジタル化はどんどん進むはずで、問題が起こるかもしれないからタブレットは使わせない、ではなく、自分の意思で安全に正しくネット環境を使う人に育てる。そういう方向で学校と家庭が協力して取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

< 校長日記 >

12月13日(月)

人権週間に関わって「ハートの木」が廊下に掲示してあります。友だちのいいところ書いたハート型のメモ用紙がたくさん貼ってあり、全体として木の形になっています。「〇さん、いつもいっしょに遊んでくれてありがとう」「〇さん、トイレのスリッパを並べてくれてありがとう」など、堂崎小のよい子情報がたくさん書いてあって、とても心和む掲示になっています。



12月14日(火)

3年生が西有家の南島原消防署へ見学に出かけました。火事で煙にまき込まれる体験などもさせてもらって、いい学習ができたそうです。



12月15日(水)

朝から縦割り班遊びがあっていました。「おにごっこ」のように体を動かす遊びだけでなく、「しりとり」をやっている班もありました。学年を越えた交流も大切です。

12月16日(木)

2年生が九九学習の総まとめとして、休み時間に職員室にやってきて、先生方に九九のテストをしてもらっています。合格してカードにスタンプやサインをもらおうとニコッとしながら教室へ帰っていきます。この日、2年生は1年生をお客さんにして「お店屋さん」も開いて、とても喜ばれたそうです。自分のしたことで誰かが喜んでくれる。それが人間にとって一番うれしいことだ、という体験をたくさんして欲しいですね。

12月17日(金)

水曜日から交通安全県民運動に合わせて朝の交通指導がはじまっています。昨日、徳島県で小学4年生女子児童が登校中にトレーラーからはねられ死亡した、と報道されていました。そういうことが起こらないよう、当番の保護者の皆様、見守りをよろしくお願いいたします。

来週は2学期最後の1週間です。24日の終業式の日、給食を食べて、13:10下校です。



2学期終業式

本日、2学期の終業式を体育館で行いました。夏休みの後半から新型コロナウイルス感染がピークとなり、PTA親子奉仕作業も中止しました。そのため、2学期始業式は校内放送で実施。様々な心配をしながらスタートした2学期78日間でした。

校長の話では写真を映しながら2学期を振り返りをした後、大谷翔平選手のことを取り上げました。彼が高校1年生の時に書いた目標シートを見せながら、「冬休みは運のいい人になれるように頑張りましょう」という話をしました。続いて2年生が児童代表の言葉として2学期に頑張ったことを一人ひとり発表してくれました。最後に校歌斉唱だったのですが、私は子ども達の歌う校歌を赴任してはじめて聴きました(笑)。

その後、6年生と教職員は運動場で卒業記念写真撮影をしました。

桜の苗木を植えました

先日、市役所から桜の苗木をいただき、校内数ヶ所に植えました。とても小さな苗木だったので、枯れずに育つかどうか……。1本でも無事に成長し、何年先になるかわかりませんがきれいな花を咲かせて堂崎小を彩ってくれればいいなあと思っています。

アメリカにウォーレン・バフェットという投資家があります。世界有数の資産家として有名な人ですが、この人の本の中に「今、木陰に座って涼を楽しむことができるのは、誰かがずっと昔にその木を植えてくれたからです。……」という言葉がありました。バフェットさんは、今は成果が上がってなくても将来を見据えて人々に必要とされる事業を準備、展開している会社、そんな将来有望な会社を見つけて投資をすることで巨万の富を築いたのだそうです。今やっていることが、しばらくたって生きてくるという意味で、教育も投資と似ているかもしれません。学校は、子ども達が大人になったときに必要になる力を教育するところです。私たちも子ども達の将来を見据えて仕事をしていく必要があります。そんな仕事ができているかどうか。桜の苗木を植えながら、少しだけそんなことを考えました。

南島原市議会議場見学

6年生が有家庁舎にある市議会議場の見学に行きました。私もはじめて入ったのですが、赤ジュータンが敷き詰められた議場は厳かな雰囲気です。が、子どもたちは議会事務局の方から説明を受けた後、議長席に座ったり、マイクを使って質問をしたり、楽しそうでした(笑)。選挙権年齢や成人年齢が18歳に引き下げられ、主権者としての教育充実が求められています。子ども達が主権者として政治に関心を持ってくれるきっかけになればと思います。



<校長日記>

12月20日(月)

堂崎小から赤い羽根共同募金に寄付した総額は「9272円」という報告がありました。ざっと計算して児童1人100円くらいの募金が集まったということになりますね。

12月21日(火)

5年生が学級園で収穫したサツマイモを使ってスイートポテトを作っていました。職員室にもメッセージも添えてお裾分けありましたが、たいへんおいしくできていました。今週はどの学級も学期末お楽しみ会週間だったようです。

12月22日(水)

2年生が学級園で立派なダイコンを収穫していました。ほぼ田中先生のお世話のおかげでしょう(笑)。家でおいしいダイコン料理を作って子どもに食べさせてください。



12月23日(木)

廊下に、5年生が作った「シーサー」が展示してありました。かわいいシーサーだと思っていたら、あっという間に2年生の松ぼっくりツリーに展示が変わっていました。さすが学校賞をもらうアートな堂崎小です(笑)。



12月24日(金)

終業式後に表彰を行いました。子ども達が標語でもがんばっています。

●南島原市人権啓発標語 最優秀賞

1年 井上結斗

「きみとぼく おなじじゃなくて いいんだよ」

●有家地区健全育成標語 入選

3年 荒木悠 4年 田中きいら・末吉莉玖

5年 中村颯佑・小島恋花 6年 高柳友伽

1月行事予定

- 11日(火) 始業式(給食あり) 13:10 下校
- 12日(水) 委員会活動
- 13日(木) 身体測定(低)
元気ファミリープラン～19日
- 14日(金) 校内書き初め会
- 17日(月) 身体測定(高)
- 19日(水) クラブ活動 *3年生見学
- 21日(金) 避難訓練
- 26日(水) 給食集会 代表委員会

【今後の予定】

- ・12/29～1/3 学校閉庁
- ・2/4 なわとび大会
- ・授業参観(予定) 4年(2/18) 6年(2/25)
1,5年(3/1) 2,3年(3/3)
- ・3/17 卒業証書授与式

明日から冬季休業に入ります。保護者の皆様、子ども達が健康と安全に気をつけて過ごせるようよろしくお願いいたします。よいお年をお迎えください。